

Y02b 太陽観測衛星「ひので」解説DVDの制作

時政典孝(西はりま天文台)、鷹宏道(平塚市博物館)、江越航(大阪市立科学館)、斉藤和幸(日原天文台)、鈴木大輔(川口市立科学館)、中道晶香(ぐんま天文台)、矢治健太郎(立教大)、殿岡英顕、下条圭美、下井倉ともみ(国立天文台)

太陽観測衛星「ひので」は2006年9月の軌道投入後、研究観測を継続している。得られる観測データは、非常に高画質の安定したもので、これまで我々が知り得なかった太陽の姿を表している。また、地上に降ろされた観測データは即座に公開されており、研究者のみならず教育者も最新のデータに触れる事ができる。

我々は、教育的観点から、ひのでのデータを有効に活用するインタープリターを開発し普及するために、PAONET(公開天文台ネットワーク)のメンバーで、ひのでデータ活用WGを発足した。

今年度は、ひので科学プロジェクトの協力の下、得られた画像や映像を用いて、ひのでと太陽の姿を紹介するDVDの制作に取り組み配布を行なった。DVD閲覧の対象は天文教育普及関係者としている。DVDを閲覧しひのでの活動を理解した教育普及関係者が、各教育の場で太陽の活動を教育普及して下さる事を期待している。そのための映像や画像の素材を利用方法とともにDVD中にhtml形式で収録するとともに、ひのを紹介するビデオもDVDプレイヤーで再生できる形で収録している。一部に専門的な内容も含まれるが、教育普及者の手を介して、学校教育での授業や社会教育施設の展示などでも十分活用できると考えている。

本発表では、このDVDの内容紹介とその教育普及効果について議論する予定である。